

令和5年 火災・救急・救助の概要



舞鶴市消防本部

消防本部ホームページ <https://www.maizuru119.com/>

Eメールアドレス syoubou@city.maizuru.lg.jp



火災



令和5年 火災概要

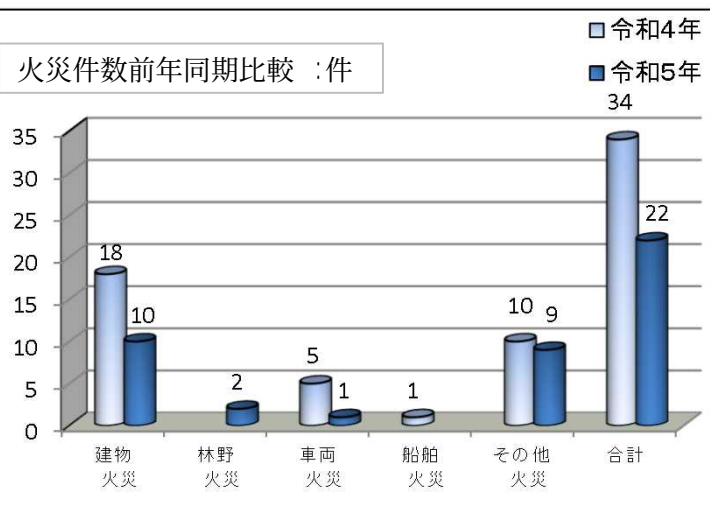
《火災の概要》

令和5年中の火災件数は22件で、前年から12件減少しました。

火災種別では、建物火災10件、林野火災2件、車両火災1件、その他火災9件となっています。

火災原因の主なものは、放火が5件、放火の疑い、たき火がそれぞれ3件、たばこ、配線器具がそれぞれ2件、電気装置、電気機器がそれぞれ1件となっています。

火災件数前年同期比較 : 件



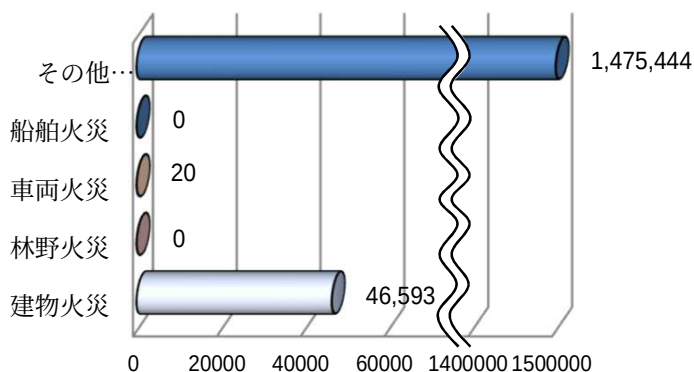
《火災損害状況》

火災損害額は、1,522,057千円で、前年と比較すると1,464,795千円増加しています。

火災1件あたりに換算すると約69,184千円/件となっています。

1日あたりに換算すると、約4,170千円/日となっています。

火災種別損害額状況 : 千円



《焼損面積等》

建物焼損面積については、焼損床面積が1,185㎡(令和4年中641㎡)、焼損表面積が85㎡(令和4年中1,256㎡)となっています。

※損害額、焼損面積等については、調査中の事案があるため数値の変更があります。

《死者及び負傷者》

火災による死傷者数は、死者が0名、負傷者が1名(令和4年中死者1名、負傷者3名)発生しました。

住宅用火災警報器の点検をしましょう！



《地区別火災発生件数》

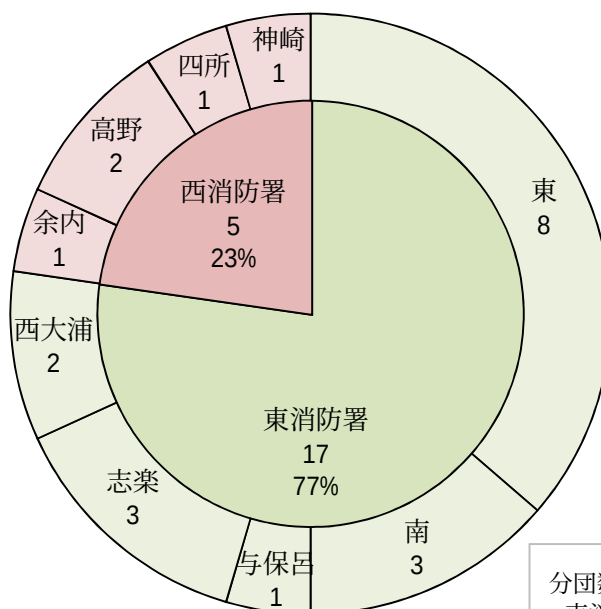
火災件数を消防署管轄別でみると、東消防署管内が17件、西消防署管内が5件発生しています。
また、分団の管轄区域別でみると、東分団管内で8件発生し、南分団、志楽分団管内でそれぞれ3件、西大浦分団、高野分団管内でそれぞれ2件、与保呂分団、余内分団、四所分団、神崎分団管内でそれぞれ1件発生しています。

地区別火災発生状況 : 件

無火災の分団

東消防署管内
中分団
祖母谷分団
朝来分団
東大浦分団

西消防署管内
西分団
池内分団
中筋分団
岡田上分団
岡田中分団
岡田下分団
八雲分団



分団数	
東消防署管内	9分団
西消防署管内	11分団
合計	20分団

過去5年間の火災概要

火災種別出火件数の推移

(単位: 件)

	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他	合計
令和元年	11			2	1	14
令和2年	16	3	3		9	31
令和3年	17	1	2		3	23
令和4年	18		5	1	10	34
令和5年	10	2	1		9	22

火災種別損害額の推移

(単位: 千円)

	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他	合計
令和元年	21,063				1	21,064
令和2年	48,808		20			48,828
令和3年	78,648		514			79,162
令和4年	56,505		123	633	1	57,262
令和5年	46,593		20		1,475,444	1,522,057

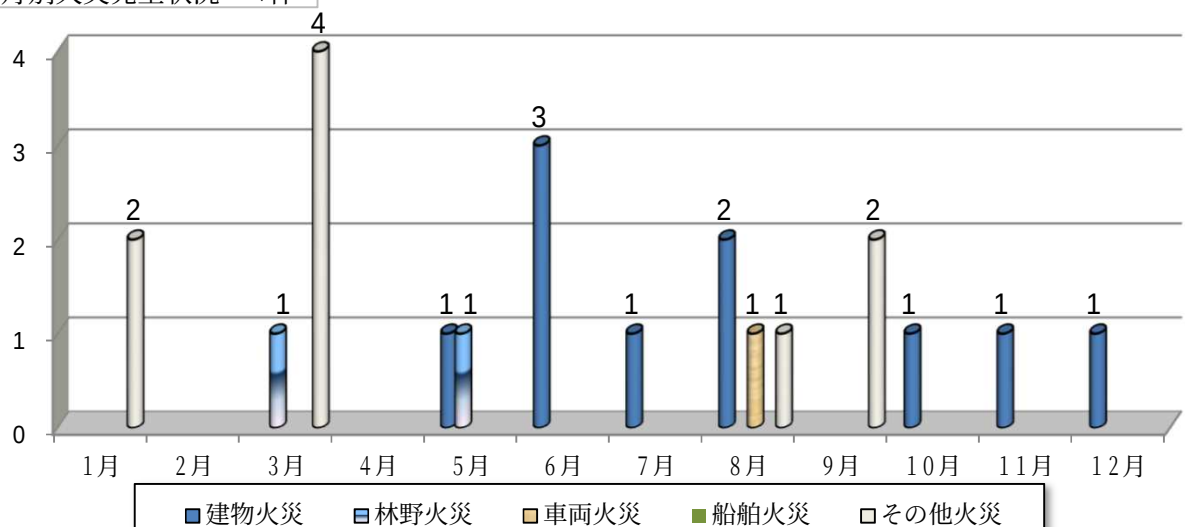
火災概要及び前年比

種別		年別	令和5年	令和4年	比較(△減)
出火件数	計		22 件	34 件	△ 12 件
	建 物		10 件	18 件	△ 8 件
	うち住宅火災		8 件	14 件	△ 6 件
	林 野		2 件	0 件	2 件
	車 両		1 件	5 件	△ 4 件
	船 舶		0 件	1 件	△ 1 件
	その他		9 件	10 件	△ 1 件
焼損面積等	建物床面積 (m ²)		1,185 m ²	641 m ²	544 m ²
	建物表面積 (m ²)		85 m ²	1,256 m ²	△ 1,171 m ²
	林 野 (a)		11 a	0 a	11 a
	車 両 (台)		1 台	5 台	△ 4 台
	船 舶 (艇)		0 艇	1 艇	△ 1 艇
	その他 (m ²)		10,841 m ²	3,938 m ²	6,903 m ²
焼損棟数	全 焼		5 棟	5 棟	0 棟
	半 焼		1 棟	2 棟	△ 1 棟
	部分焼		9 棟	7 棟	2 棟
	ぼ や		6 棟	13 棟	△ 7 棟
損害額	建物火災		46,593 千円	56,505 千円	△ 9,912 千円
	建物火災以外		1,475,464 千円	757 千円	1,474,707 千円
	合 計		1,522,057 千円	57,262 千円	1,464,795 千円
り災世帯	全 損		7 世帯	7 世帯	0 世帯
	半 損		0 世帯	1 世帯	△ 1 世帯
	小 損		15 世帯	8 世帯	7 世帯
り災人員			30 人	29 人	1 人
死傷者	死 者		0 人	1 人	△ 1 人
	負傷者		1 人	3 人	△ 2 人
火災発生間隔			16.6 日	10.7 日	—————
1件平均損害額			69,184 千円	1,684 千円	67,500 千円
1日平均損害額			4,170 千円	157 千円	4,013 千円

月別火災発生状況

月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出火件数	計	2	0	5	0	2	3	1	4	2	1	1	1	22
	建物					1	3	1	2		1	1	1	10
	うち住宅火災						3		2		1	1	1	8
	林野			1		1								2
	車両								1					1
	船舶													0
	その他	2		4					1	2				9
焼損面積	建物床面積 (㎡)			432		11	384		333				25	1,185
	建物表面積 (㎡)						77		7			1		85
	林野 (a)			5		6								11
	車両 (台)								1					1
	船舶 (艇)													0
	その他 (㎡)	809		10,032										10,841
焼損棟数	全焼			2			2		1					5
	半焼						1							1
	部分焼					1	5		2				1	9
	ぼや						2	1	1		1	1		6
損害額 (千円)	計	266	0	1,475,178	0	1,189	34,158	44	11,216	0	0	6	0	1,522,057
	建物					1189	34,158	44	11,196			6		46,593
	林野													0
	車両								20					20
	船舶													0
	その他	266		1,475,178										1,475,444
り災世帯	全損						3		3				1	7
	半損													0
	小損						4		9		1	1		15
	り災者数						10		16		1	2	1	30
死傷者	死者													0
	負傷者			1										1

月別火災発生状況 件



覚知時間別火災発生状況

(単位:件)

月別 時間別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別					合計
													建物	林野	車両	船舶	その他	
0時～1時							1						1					1
1時～2時																		0
2時～3時																		0
3時～4時																		0
4時～5時								1							1			1
5時～6時																		0
6時～7時																		0
7時～8時																		0
8時～9時						1					1		2					2
9時～10時																		0
10時～11時																		0
11時～12時	2				1			2	2				1	1			5	7
12時～13時										1		1	2					2
13時～14時			2														2	2
14時～15時			1			1							1	1				2
15時～16時			1														1	1
16時～17時																		0
17時～18時																		0
18時～19時								1					1					1
19時～20時																		0
20時～21時																		0
21時～22時			1														1	1
22時～23時																		0
23時～24時					1	1							2					2
合計	2	0	5	0	2	3	1	4	2	1	1	1	10	2	1	0	9	22

曜日別火災発生状況

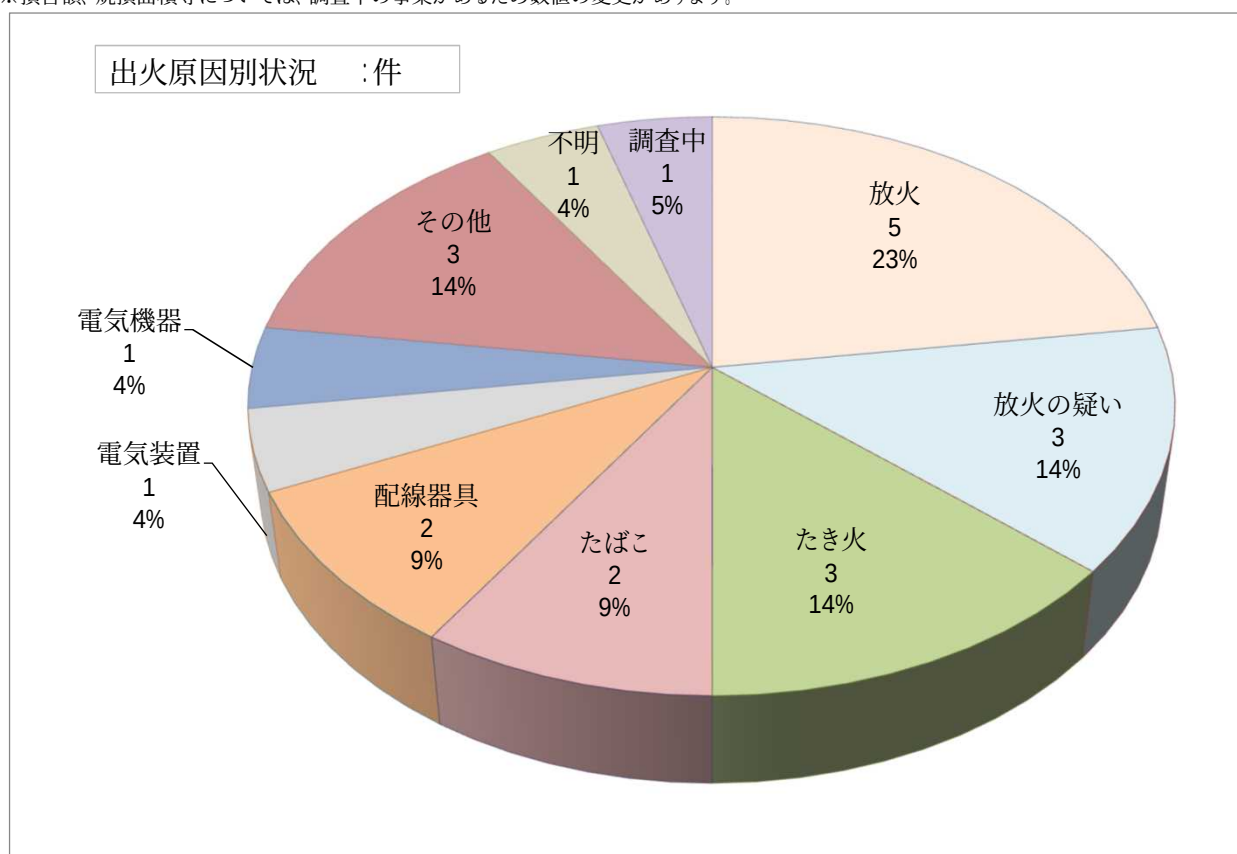
(単位:件)

月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別					合計
													建物	林野	車両	船舶	その他	
日曜日			2			2		1				1	3	1			2	6
月曜日									2								2	2
火曜日			2					1							1		2	3
水曜日					1		1	1					3					3
木曜日	2																2	2
金曜日					1									1				1
土曜日			1			1		1		1	1		4				1	5
合計	2	0	5	0	2	3	1	4	2	1	1	1	10	2	1	0	9	22

出火原因別状況

原因	火災件数(件)						損害額 (千円)	焼損面積等						負傷者 (人)	死者 (人)
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他		建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 (a)	車両 (台)	船舶 (艇)	その他 (㎡)		
放火	5	2		1		2	2,995	27	1		1				
放火の疑い	3	2	1				2,915	24		5					
たき火	3					3							10841	1	
たばこ	2	1	1				28,909	337	77	6					
配線器具	2	2					10,605	329	7						
電気装置	1					1	266								
電気機器	1	1					1,189	11							
その他	3	1				2	1,475,178	432							
不明	1					1									
調査中	1	1						25							
合計	22	10	2	1	0	9	1,522,057	1,185	85	11	1	0	10841	1	0

※損害額、焼損面積等については、調査中の事案があるため数値の変更があります。



消防事故の概要

＜消防事故の概要＞

令和5年中の消防事故件数は、167件で昨年に比べ22件増加しました。
事故種別でみると、令和5年中は電気事故、燃焼放置事故、誤報事故、その他の事故が増加し、漏洩・流出事故が減少しました。

消防事故発生状況

種 別		年 別	令和5年	令和4年	前年との比較
消 防 事 故 種 別	焼 損 事 故		3	3	0
	爆 発 事 故		0	0	0
	漏 洩 ・ 流 出 事 故		18	26	△ 8
	電 気 事 故		4	2	2
	燃 焼 放 置 事 故		5	1	4
	誤 報 事 故		29	26	3
	そ の 他 の 事 故		108	87	21
合 計			167	145	22

救 急



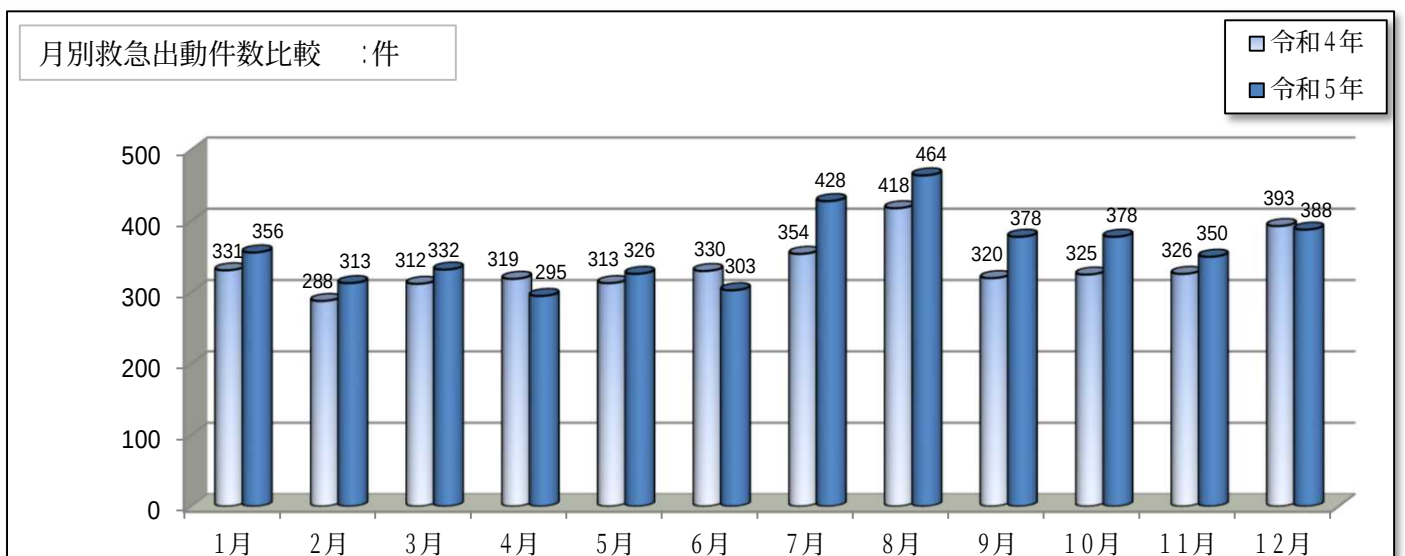
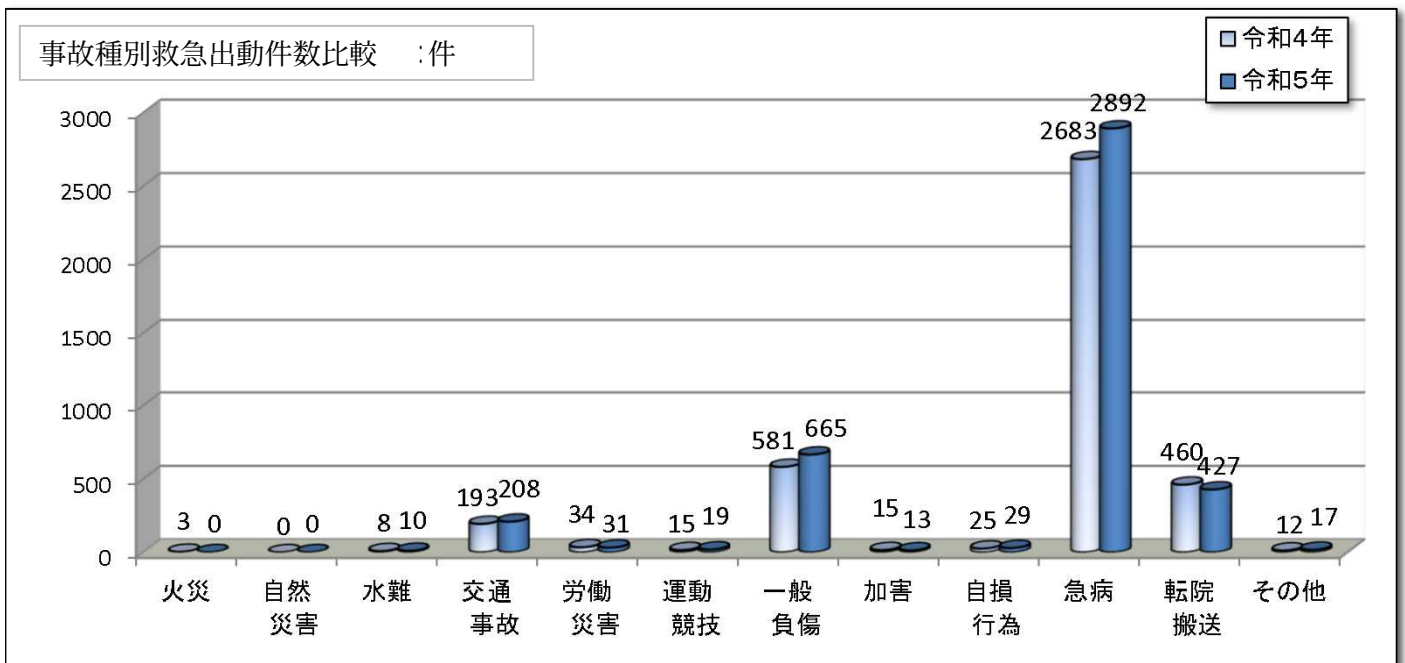
令和5年 救急概要

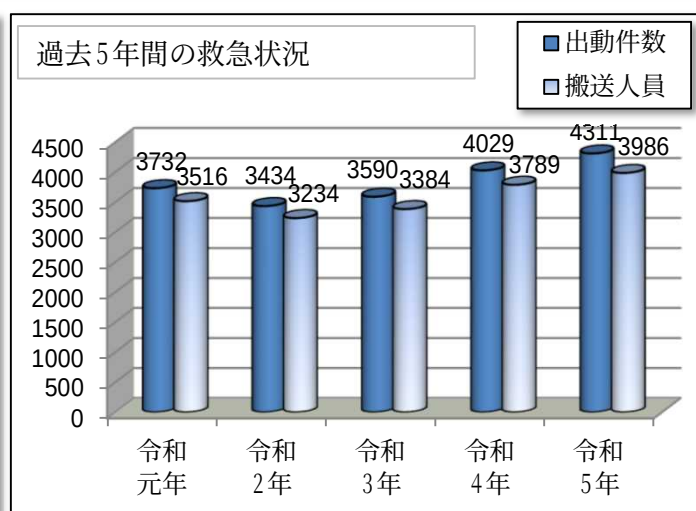
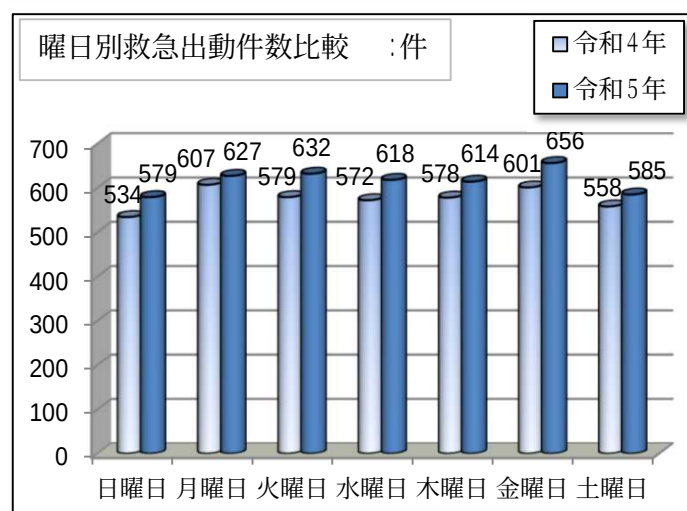
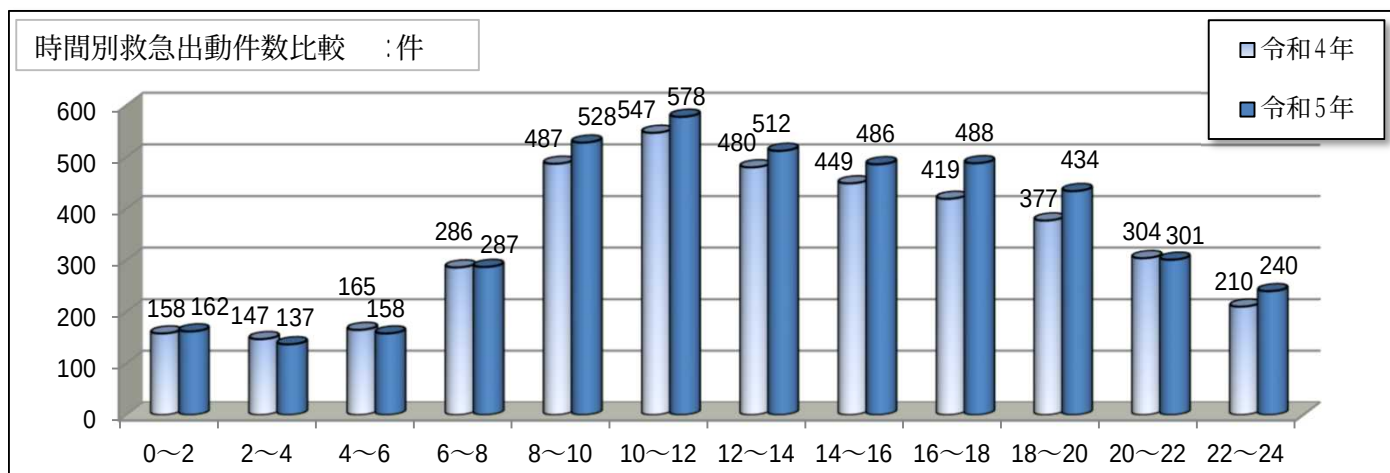
《救急の概要》

令和5年の救急出動件数は4,311件で、前年(4,029件)と比較すると282件の増加、救急搬送人員については3,986人で、前年(3,789人)と比較すると197人の増加となっています。

《救急出動件数》

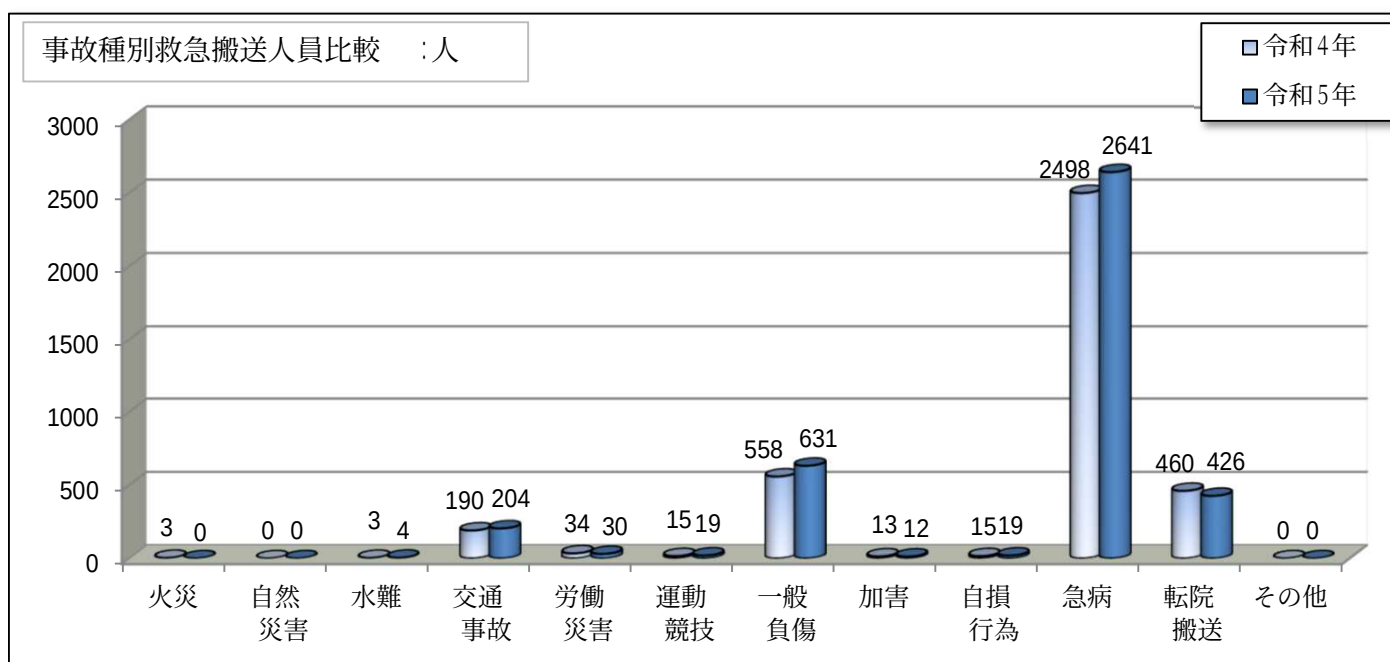
事故種別救急出動件数をみると、急病は2,892件、一般負傷665件、転院搬送427件、交通事故208件の順となり、前年と比較すると、急病は209件増加、一般負傷は84件増加、転院搬送は33件減少、交通事故は15件増加となっています。





《搬送人員状況》

救急搬送人員は3,986人で、性別では男性が2,029人、女性が1,956人となっています。
年齢区分別の搬送人員は、70歳以上が2,613人と全体の約66%を占めています。

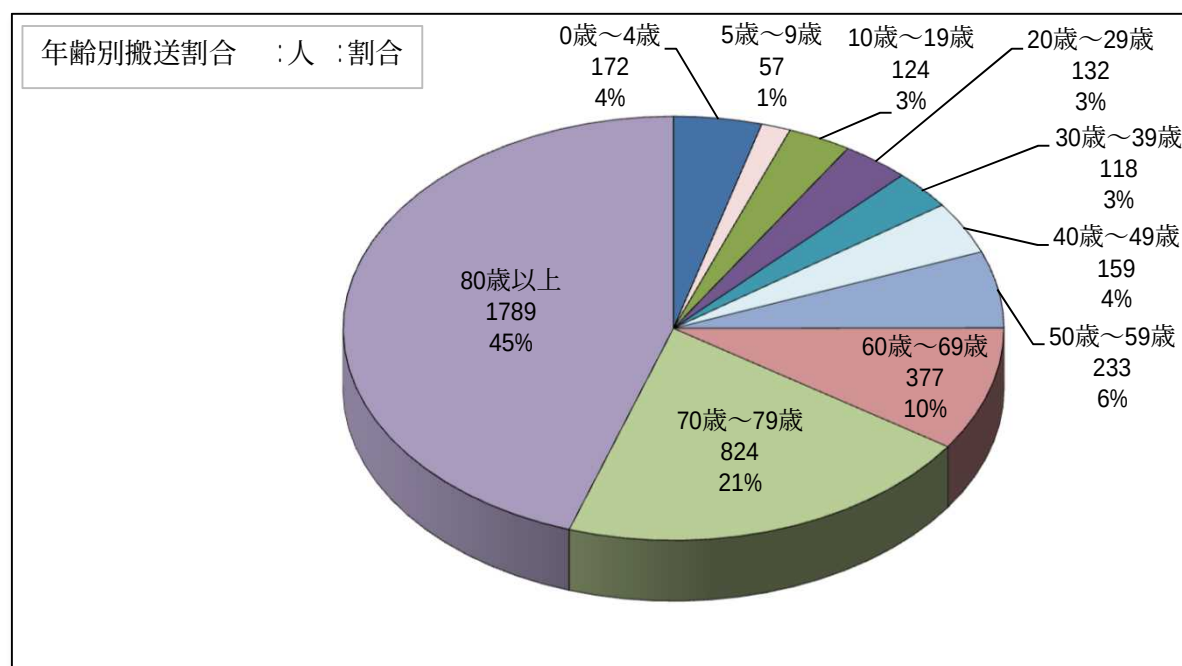
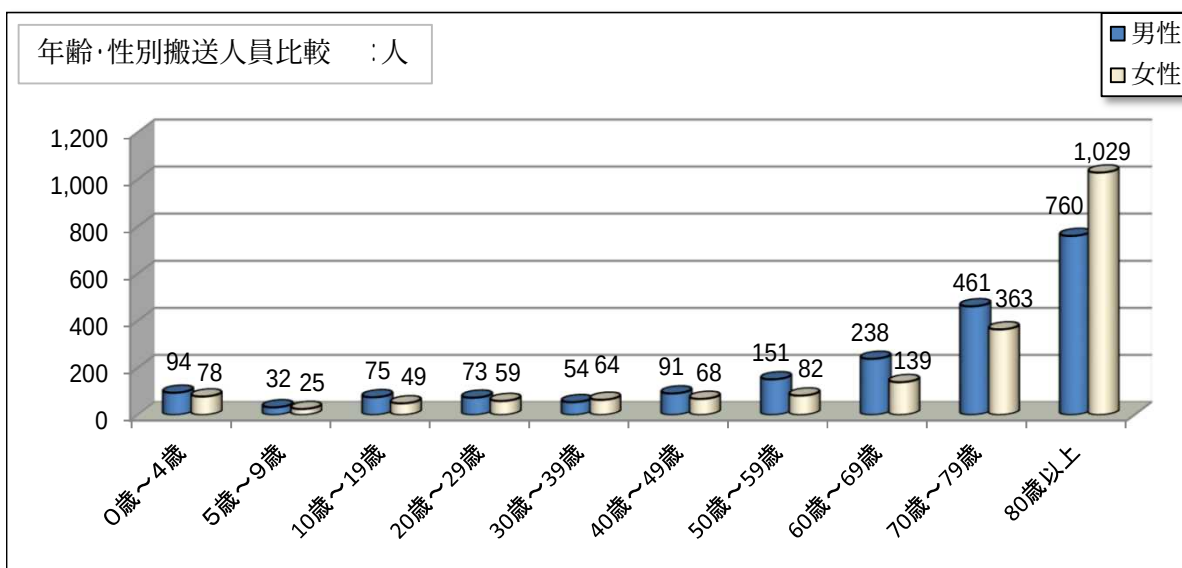


《年齢・性別搬送人員比較》

(単位:人)

年齢	性別	令和5年			令和4年			比較(△減)		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
0歳～4歳		94	78	173	83	58	141	11	20	32
5歳～9歳		32	25	57	39	23	62	△ 7	2	△ 5
10歳～19歳		75	49	124	77	54	131	△ 2	△ 5	△ 7
20歳～29歳		73	59	132	69	56	125	4	3	7
30歳～39歳		54	64	118	57	62	119	△ 3	2	△ 1
40歳～49歳		91	68	159	105	73	178	△ 14	△ 5	△ 19
50歳～59歳		151	82	233	154	102	256	△ 3	△ 20	△ 23
60歳～69歳		238	139	377	224	119	343	14	20	34
70歳～79歳		461	363	824	441	356	797	20	7	27
80歳以上		760	1,029	1,789	749	888	1,637	11	141	152
合計		2,029	1,956	3,986	1,998	1,791	3,789	31	165	197

※令和5年0歳～4歳の男女の合計値に齟齬が生じるのは、性別不明の傷病者を1名搬送しているため。



《傷病程度別搬送状況》

傷病程度別搬送状況は軽症が1,909人で全搬送人員の約48%を占め、次いで中等症1,397人(約35%)、重症582人(約15%)の順となっています。

	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計(人)
急病	82	276	985	1,297	1	2,641
一般負傷	5	147	121	358	0	631
交通事故	3	17	30	152	2	204
上記以外	5	142	261	102	0	510
合計	95	582	1,397	1,909	3	3,986

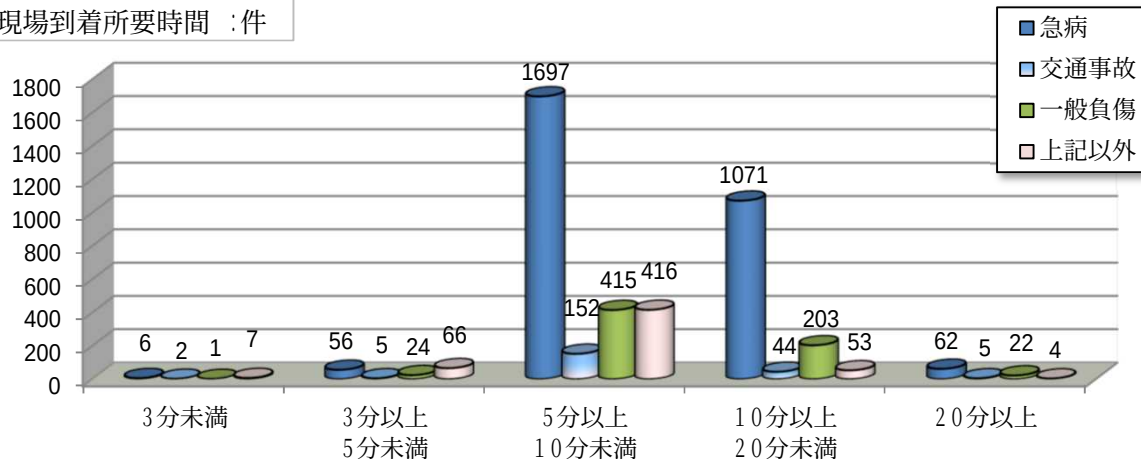
※ 死亡:初診時において、死亡が確認されたもの
 重症:傷病の程度が21日以上入院加療を必要とするもの
 中等症:傷病の程度が入院を要するもの(21日未満の入院)
 軽症:傷病の程度が入院を必要としないもの
 その他:医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

《救急所要時間状況》

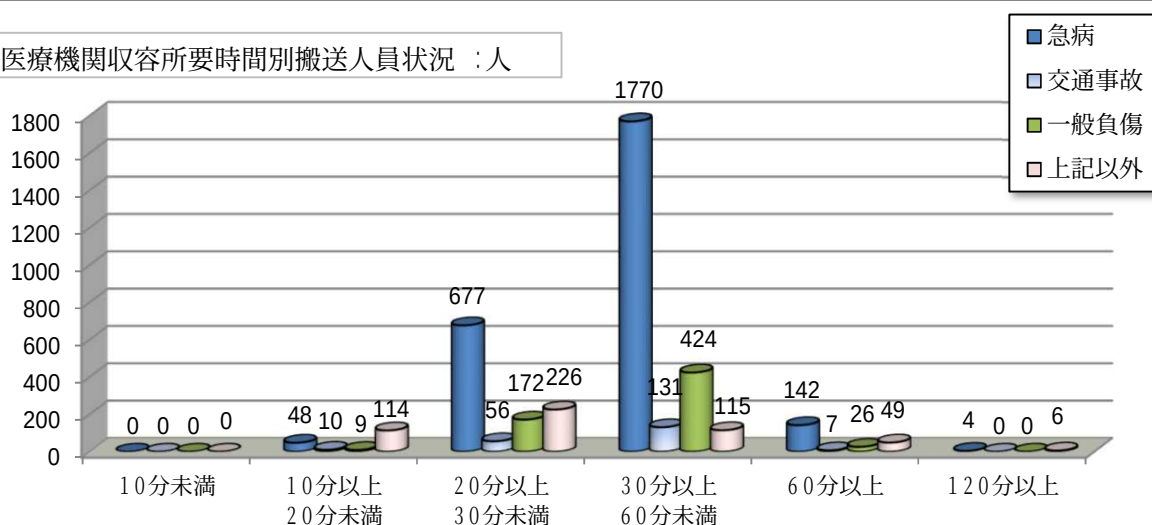
救急隊が119番を受信してから現場到着するまでの所要時間は、平均9.0分となり、医療機関収容所要時間の平均は36.5分となっています。

医療機関への収容所要時間で30分以上要している中には、市外への搬送も含まれています。

現場到着所要時間 : 件



医療機関収容所要時間別搬送人員状況 : 人



《事故種別でみる搬送先別搬送者数》

(単位:人)

事故種別 搬送医療機関		救 急 事 故 種 別											合 計	
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
												転 院 搬 送		そ の 他
舞 鶴 市 内		0	0	4	203	28	19	626	12	19	2,611	350	0	3,872
管 外	中 丹	0	0	0	0	1	0	3	0	0	25	45	0	74
	府 下 (中丹以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	24	0	26
	府 外	0	0	0	1	1	0	2	0	0	3	7	0	14
その他の場所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	4	204	30	19	631	12	19	2,641	426	0	3,986

※ドクターヘリ搬送は、府外へ計上。その他の場所は、搬送先が医療機関以外のものを計上 (例: 防災ヘリ、老人ホーム、歯科など)

《急病比較(年間)》

区分 \ 年別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全搬送人員	3,516	3,234	3,384	3,789	3,986
急病搬送人員	2,261	2,131	2,165	2,498	2,641
急病による搬送人員の全 搬送人員に対する割合	64%	66%	64%	66%	66%

《急病にかかる疾病分類別傷病程度》

(単位:人)

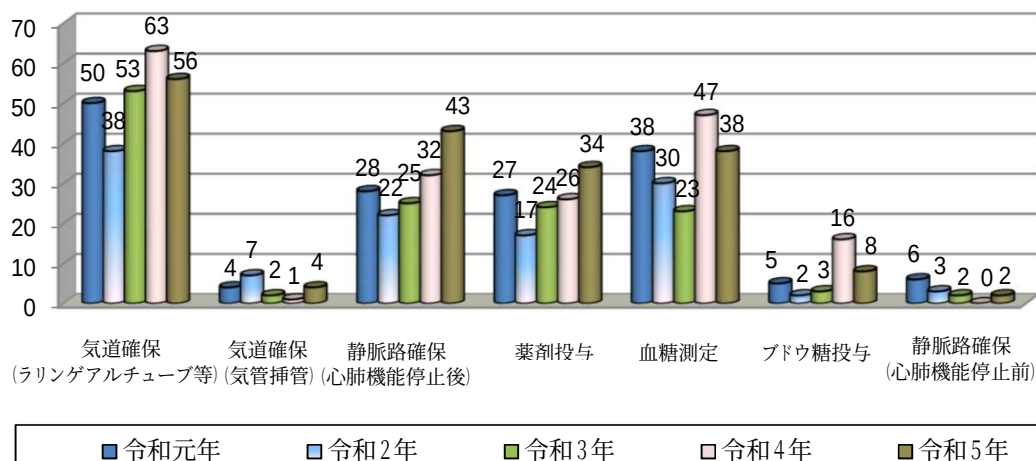
傷病程度 疾病分類		傷病程度					合計
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	
循環器系	脳 疾 患	0	41	103	37	0	181
	心疾患等	70	61	86	77	0	294
消 化 器 系		2	27	102	76	0	207
呼 吸 器 系		5	39	174	66	0	284
精 神 系		0	2	4	81	0	87
感 覚 系		0	2	57	89	0	148
泌 尿 器 系		0	16	68	59	0	143
新 生 物		3	18	51	19	0	91
その他		2	58	236	350	0	646
症状・徴候 診断名不明確		0	12	104	443	1	560
合 計		82	276	985	1,297	1	2,641

《応急処置・救命処置実施状況》

搬送人員3,986人のうち、救急隊員が何らかの応急処置を実施した対象人員は3,967人で全搬送人員の約99.5%にあたり、応急処置総合計は18,690件で搬送人員1人あたり約4.7件の応急処置をしたこととなります。また、救急救命士による救命処置をみると器具による気道確保60件(ラリングアルチューブ等56件、気管挿管4件)、静脈路確保45件(心肺停止前2件、心肺停止後43件)、薬剤投与34件、血糖測定38件、ブドウ糖投与8件実施しました。

処置別	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置	止 血	3	2	28	8	41
	固 定	2	51	21	2	76
	人工呼吸	6	0	0	1	7
	胸骨圧迫	0	0	1	0	1
	心肺蘇生	84	3	5	4	96
	うち自動	68	3	3	3	77
	酸素吸入	633	9	26	121	789
	気道確保(特定行為除く)	63	0	4	11	78
	保 温	371	15	46	45	477
	被 覆	6	13	84	16	119
	在宅療法継続	183	1	25	27	236
	ショックパンツ	0	0	0	0	0
	血 圧 測 定	2,422	194	599	448	3,663
	聴診器による心・呼吸音聴取	1,916	142	355	169	2,582
	血中酸素飽和度測定	2,511	197	613	473	3,794
	心 電 図	2,061	71	296	261	2,689
	うち伝送	36	0	0	0	36
	除 細 動	3	0	0	0	3
	そ の 他	2,573	198	625	458	3,854
	応急処置合計	12,837	896	2,728	2,044	18,505
救命処置	気道確保(ラリングアルチューブ等)	49	3	3	1	56
	気道確保(気管挿管)	4	0	0	0	4
	静 脈 路 確 保(心肺停止後)	39	0	3	1	43
	薬 剤 投 与	32	0	1	1	34
	血糖測定	38	0	0	0	38
	ブドウ糖投与	8	0	0	0	8
	静 脈 路 確 保(心肺停止前)	1	0	1	0	2
	救命処置合計	171	3	8	3	185
応急処置総合計		13,008	899	2,736	2,047	18,690
応急処置対象人員		2,641	201	630	495	3,967

過去5年間の救命処置別推移 :件



※「心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液」並びに「血糖測定及び低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」については、舞鶴市消防本部は平成26年10月1日から運用開始しています。

救助



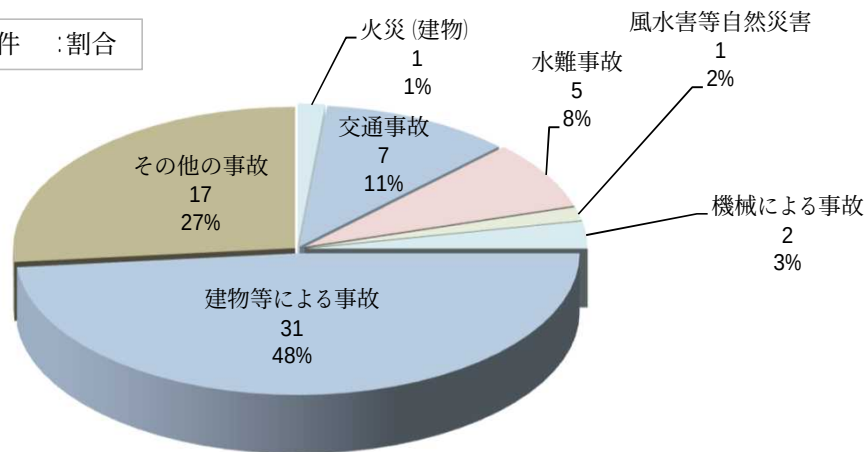
令和5年 救助概要

《救助の概要》

令和5年の救助出動件数は64件、救助人員は47人で、それぞれ前年と比較すると15件、14人増加となりました。事故種別救助人員でみると、建物等による事故が26人と最も多く、次いでその他の事故が11人でした。

区分 事故種別	令和5年			令和4年			前年比較		
	出動 件数	活動 件数	救助 人員	出動 件数	活動 件数	救助 人員	出動 件数	活動 件数	救助 人員
火災(建物)	1	1		2	2	1	△ 1	△ 1	△ 1
火災(建物以外)									
交通事故	7	3	3	13	9	10	△ 6	△ 6	△ 7
水難事故	5	4	4	3	2	2	2	2	2
風水害等自然災害	1	1	2				1	1	2
機械による事故	2	1	1	1	1	1	1		
建物等による事故	31	27	26	22	15	14	9	12	12
ガス及び酸欠事故				1	1	1	△ 1	△ 1	△ 1
破裂事故									
その他の事故	17	11	11	7	4	4	10	7	7
合計	64	48	47	49	34	33	15	14	14

事故種別救助出動件数 : 件 : 割合



救助出動件数比較 : 件

